

観光振興対策特別委員会記録

開催日時 平成25年8月20日(火) 10:02~11:10

開催場所 第1委員会室

出席委員 7名

梶川 虔二 委員長

畠 真夕美 副委員長

小林 照代 委員

大坪 宏通 委員

森川 喜之 委員

辻本 黎士 委員

粒谷 友示 委員

欠席委員 1名

岩田 国夫 委員

出席理事者 久保田 観光局長

林 まちづくり推進局長 ほか、関係職員

傍聴者 なし

議 事

(1) 平成25年度主要施策の概要について

(2) その他

<会議の経過>

○梶川委員長 おはようございます。

ただいまから観光振興対策特別委員会を開会いたします。

議事に先立ち、一言ご挨拶を申し上げます。

本日はご多忙のところ委員会にご出席いただきありがとうございます。私、梶川と畠議員がさきの6月定例議会において当委員会の正副委員長に選任をされました。今後、委員各位並びに理事者のご協力とご支援を得て円滑な委員会運営、県政発展のために努めてまいりますので、どうぞよろしく願いをいたします。

今回、委員会構成がなされて初めての委員会ですので、委員より自己紹介をお願いいたします。

では、副委員長から。

○除副委員長 副委員長の除でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○辻本委員 委員の辻本でございます。よろしく。

○粒谷委員 粒谷でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○森川委員 委員の森川です。よろしくお願いいたします。

○小林委員 委員の小林でございます。よろしくお願いいたします。

○大坪委員 委員の大坪でございます。よろしくお願いいたします。

○梶川委員長 ありがとうございます。

本日は岩田委員が欠席されるようでございますので、ご了解をお願いいたします。

次に、事務局の紹介をさせます。

事務局長の自己紹介後、担当書記の紹介をお願いします。

○石井事務局長 事務局長の石井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

当委員会の担当書記をご紹介します。吉川議事課課長補佐でございます。

○吉川書記 吉川でございます。よろしくお願いいたします。

○石井事務局長 坂本政務調査課主査でございます。

○坂本書記 坂本です。よろしくお願いいたします。

○石井事務局長 以上でございます。

○梶川委員長 次に、理事者の紹介をお願いいたします。

なお、当委員会の所管事項及び出席を求める理事者についてですが、去る7月12日の正副委員長会議においてお手元に配付のとおり決定をされておりますので、ご了承をお願いいたします。

では、ご紹介をお願いいたします。

○竹田文化振興課長 地域振興部文化振興課長の竹田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○久保田観光局長 観光局長の久保田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

観光局内の関係課長を紹介させていただきます。浅田観光振興課長でございます。

○浅田観光振興課長 浅田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○久保田観光局長 谷垣ならの魅力創造課長でございます。

○谷垣ならの魅力創造課長 よろしくをお願いいたします。

○久保田観光局長 阪本国際観光課長でございます。

○阪本国際観光課長 阪本でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○久保田親光局長 どうぞよろしくお願ひいたします。

○大西企業立地推進課長 産業・雇用振興部企業立地推進課長の大西でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○角山マーケティング課長 農林部マーケティング課長の角山です。よろしくお願ひいたします。

○堀内道路環境課長 県土マネジメント部道路環境課長の堀内でございます。よろしくお願ひいたします。

○梅原道路管理課長 同じく県土マネジメント部の道路管理課長の梅原でございます。どうぞよろしくお願ひします。

○林まちづくり推進局長 まちづくり推進局長の林でございます。どうぞよろしくお願ひします。

まちづくり推進局のメンバーを紹介したいと思います。牛嶋まちづくり推進局次長でございます。

○牛嶋まちづくり推進局次長 牛嶋でございます。よろしくお願ひいたします。

○林まちづくり推進局長 中尾知事公室審議官です。

○中尾知事公室審議官（県営プール跡地活用プロジェクト担当） 中尾でございます。よろしくお願ひいたします。

○林まちづくり推進局長 中澤公園緑地課長です。

○中澤公園緑地課長 中澤でございます。よろしくお願ひします。

○林まちづくり推進局長 中西奈良公園室長です。

○中西奈良公園室長 中西でございます。よろしくお願ひします。

○林まちづくり推進局長 石井平城宮跡事業推進室長です。

○石井平城宮跡事業推進室長 石井でございます。よろしくお願ひいたします。

○林まちづくり推進局長 以上でございます。よろしくお願ひします。

○小槻文化財保存課長 教育委員会事務局文化財保存課長の小槻でございます。よろしくお願ひいたします。

○梶川委員長 ありがとうございます。

次に、委員会の運営についてですが、お手元に特別委員会の設置等に関する申し合わせを配付しております。この申し合わせでは、調査期間終了後にその成果を本会議で報告すること及び委員間討議の方法による議論を行うこととなっております。

それでは、お手元に配付しております観光振興対策特別委員会の運営についてを説明をさせていただきます。

1の所管事項及び調査・審査事務については、まず、当委員会の所管事項として歴史とにぎわい創出による観光振興に関すること。そして調査並びに審査事務は、1、記紀・万葉プロジェクトに関すること、2、にぎわい交流の拠点整備の推進に関することとなっております。今後、議論を深めていただき、課題等を絞り込んでまいりたいと考えております。

次に、2の委員会の運営についてですが、平成27年2月定例会に調査・審査の成果をとりまとめることとしまして、委員間討議による議論を行いながら必要に応じて委員のみによる委員会も開催してまいりたいと考えております。

3の当面のスケジュールですが、今年度のおおむねの予定を入れております。それに沿って委員会運営を行いまして、来年、平成26年6月定例会には中間報告を行いたいと考えておりますので、よろしく願いをいたします。

これについて特にご意見がございましたらお受けいたしますが、委員の皆さん、特にご意見ありませんか。いいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、当委員会は、ただいま意見がないということでございますから、先ほど申し上げましたことを了解事項として、調査並びに審査におきまして委員間討議の時間もとりながら進めてまいりたいと思います。

事務分掌についてですが、次に、事務分掌あるいは新規事業の内容をお手元に配付しておりますので、参考にしていただきたいと思います。

それでは、案件に入ります。

平成25年度主要施策の概要について、文化振興課長、観光局長、企業立地推進課長、まちづくり推進局長、文化財保存課長の順に説明をいただきたいと思います。お願いします。

○竹田文化振興課長 それでは、平成25年度地域振興部所管の主要施策の概要についてご説明をさせていただきます。

お手元、「観光振興対策特別委員会資料、平成25年度主要施策の概要」をごらんいただきたいと思います。

1ページ、まず、史跡等整備活用補助金でございますけれども、補正予算につきまして、

市町村の文化観光戦略等を支援するために史跡等の積極的な整備活用を進める市町村に対して補助を行うものでございます。

続きまして、ムジークフェストなら2013開催事業（新規事業県営プール跡地）でありますが、予算額として表記しておりますとおり1,500万円でございますが、補正につきましては県営プール跡地で実施のコンサートに係る予算でございます。なお、ムジークフェストなら2013開催事業全体といたしましては、今年度9,500万円の予算となっております。過日実施いたしました2回目となるムジークフェストならにつきましては、期間を17日間に拡大いたしまして、県営プール跡地のほか世界遺産の社寺をはじめ計100会場、200以上のコンサートを開催いたしまして、期間中の来場者につきましては約6万人を超えました。また、関連イベントを含めると約10万人の皆様方にご参加をいただいたところでございます。

続きまして、平成25年6月補正予算についてでございます。

お手元の「平成25年6月定例県議会提出予算案の概要」をごらんください。その中の3ページ、1観光の振興の新規事業、文化会館施設整備事業でございます。補正予算につきましては、文化芸術活動の拠点施設としての機能を充実させるためにエントランスへの催事案内表示板の設置、また、今使っておりません旧厨房の音楽練習用ホールへの改修等記載の整備を行うため、実施設計費を計上させていただいております。費用につきましては、地元の元気臨時交付金を活用するというところで進めております。

以上で説明を終わります。

○久保田観光局長 「観光振興対策特別委員会資料、平成25年度主要施策の概要」をごらんいただけますでしょうか。観光局所管の事業につきまして説明させていただきます。

2ページ、古事記完成1,300年の昨年2012年から日本書紀完成1,300年の2020年までの9年間にわたり取り組みます記紀・万葉プロジェクトにつきましては、記紀・万葉に親しむことのできる多様な事業を展開いたします。現地で奈良の歴史を味わう仕組みづくり事業に取り組みますほか、「古事記かるた」制作事業では小学生等を対象とした「古事記かるた」の制作を行うなど、古事記に親しんでいただくための取り組みを推進いたします。

3ページ、「なら記紀・万葉」シンボルイベントの開催事業は古事記朗唱大会を来年2月に開催予定でございます。機運の盛り上がりを図ってまいりたいと考えております。

さらに、古事記を語る出版物顕彰事業では、古事記出版大賞の表彰式を行いますほか、

古事記ゆかりの他の県と連携いたしましたシンポジウムも来年1月に首都圏で開催することによりまして、記紀・万葉の魅力を全国に向けて発信してまいります。以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

○大西企業立地推進課長 それでは、引き続きまして平成25年度の主要施策の概要、産業・雇用振興部所管分についてご説明申し上げます。

5ページ、企業立地推進課所管の事業でございます。ならの宿泊力強化事業といたしまして、これはホテルを核とする賑わいと交流の拠点整備等を推進するため、ホテル事業の収益性等の検討を実施いたします。また、県営プール跡地における賑わいづくりの実施をいたしまして、(仮称)奈良の幽玄の夕べまつりということで本年11月に開催を予定しております。その他記載の業務を実施いたします。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○林まちづくり推進局長 続きまして、平成25年度の県土マネジメント部からまちづくり推進局所管の観光振興対策に関する主要施策の概要につきまして、説明したいと思えます。

「平成25年度の主要施策の概要」の6ページをお願いします。

最初に、奈良中心市街地の交通対策事業ですが、奈良公園から平城宮跡、西の京を含むエリアにおける交通環境の整備のため、記載の取り組みを行うものです。

次に、自転車利用促進事業ですが、奈良県自転車利用促進計画に基づき記載の取り組みを行うことによりまして、自転車利用ネットワークの構築や自転車利用環境の整備を行うものでございます。

次に、観光案内看板整備事業ですが、観光案内サイン整備ガイドラインに基づきまして周遊観光を促進するため、平城宮跡周辺などで観光案内看板の整備を行うものです。

最後に、奈良公園交通対策事業ですが、奈良公園エリアの交通渋滞対策及び奈良公園の魅力向上に向け、登大路自動車駐車場のターミナル化の調査、検討及び整備を行うものです。

7ページ、新規事業で、鹿ゾーン対策事業です。鹿の交通事故軽減にも配慮した奈良公園周辺への自動車流入抑制のため、道路案内標識の改訂や鹿ゾーン明示のカラー舗装整備などの取り組みを行うものです。

次に、公共交通アクセス環境改善事業ですが、近鉄奈良駅北側のエスカレーター設置など、公共交通施設のアクセス環境の検討整備を行うものです。

8 ページ、これも新規事業になりますが、大宮通りの植栽及び修景整備ですが、奈良への玄関口であります大宮通りにおきまして、交差点や街路樹の間のスペースなどに花や緑を植栽することによりまして、観光客をもてなす空間を提供する事業でございます。

9 ページ、これも新規事業で、県営プール跡地の賑わいづくり検討事業ですが、県営プール跡地などを活用し、賑わいのある滞在型の観光、学習、交流などの拠点をつくり出すプロジェクトの検討を行うものです。

10 ページ、奈良公園施設魅力向上事業ですが、奈良公園の抱える課題を解決し、世界に誇れる公園にしていくために奈良公園及びその周辺で記載の取り組みを行うものでございます。

次の新規事業、新公会堂コンベンション機能強化事業ですが、新公会堂庭園にライトアップ施設を整備するものでございます。

新規事業、新公会堂コンベンション機能情報発信事業は、記載の誘客イベントを通じまして新公会堂のコンベンション機能を全国に発信するものでございます。

奈良公園オフシーズン活用事業ですが、奈良公園におきましてあかりを用いました誘客促進のイベント、その他記載の取り組みを行うものです。

奈良公園光とあかりのイベント事業ですが、若草山の山焼き行事に合わせました冬花火の祭典やしあわせ回廊なら瑠璃絵を行うものでございます。

次に、なら燈花会事業ですが、夏の奈良の夜の魅力を高めるため、ろうそくを主とした灯りによります奈良公園一帯を演出するものでございまして、ことしも8月5日から14日に実施したところでございます。

最後の新規事業、奈良公園周辺への宿泊客誘客キャンペーン事業ですが、オフシーズンに首都圏をはじめといたしまして、全国から主として宿泊客の誘客を支援するため、記載のキャンペーンを実施するものでございます。

11 ページ、平城宮跡の関連でございます。平城宮跡周辺魅力向上事業ですが、積水化学工業の用地取得、それから平城宮跡歴史公園拠点ゾーンの整備計画の策定、策定後の公園施設の基本設計、さらには平城宮跡への来訪者の利便性の向上を図るために設置しております駐車場、トイレなどの管理運営を行うものでございます。今申し上げた中で整備計画策定に関しましては、昨日までパブリックコメントを実施しておりましたところでございます。

以上で平成25年度の県土マネジメント部及びまちづくり推進局所管の観光振興対策に

関する主要施策の概要説明でございます。

それから補正予算がございますので、「平成25年6月定例県議会提出予算案の概要」をお願いいたします。

3ページ、新規事業、県庁周辺歩行空間環境整備事業でございます。大宮通りプロジェクトの一環といたしまして沿道の空間ににぎわいを創出していくために、近鉄奈良駅から県文化会館、県立美術館、奈良公園への歩行空間の環境整備を行うものでございます。

それから、新規事業、奈良県庁前エントランス整備事業です。奈良公園の玄関口でございます近鉄奈良駅から県庁までの歩道にイルミネーションなどを設置するものでございます。

それからこれも新規事業、県庁周辺案内サイン統一化事業でございます。県庁周辺の施設案内サインを集約、統一化し、来訪者に対し、文化施設にも訪れてもらえるような案内を行いまして、奈良公園周辺の世界遺産と一体となった観光の周遊を促進するものでございます。

それから、奈良公園施設魅力向上事業です。近鉄奈良駅から興福寺にかけて1,300年前の往時を偲ばせるような土塀を設置するための実施設計、奈良公園周辺の観光情報を充実させるための歴史展示実施計画の策定、近鉄奈良駅などの電子案内板用の映像コンテンツの作成、さらには吉城園に隣接いたします旧青少年会館の撤去などの事業を行うものでございます。

それから新規事業、大宮通り植栽推進事業です。これは先ほどの当初予算のときに説明いたしましたけれども、街路樹の間とか交差点におきまして花や緑の植栽の検討を行うものでございます。

最後に、これも新規事業になります、馬見丘陵公園ボランティアハウス整備事業です。馬見丘陵公園につきましては現在、中南和地域の観光拠点として花と緑を楽しんでいただく取り組みを進めております。その一環といたしまして公園内の植栽の維持管理に参加いたしますボランティアの導入を進めております。このためのボランティアハウスの整備を行うものでございます。

次に、7ページ、奈良公園交通環境整備事業ですが、現在、県庁東から大仏殿交差点の間の北側の歩道を整備しておりまして、その進捗をさらに図るものでございます。

以上で、平成25年度の県土マネジメント部及びまちづくり推進局所管の観光振興対策に関します25年度の補正予算の概要説明を終わらせていただきます。ご審議のほう、よ

ろしくお願いいたします。

○小槻文化財保存課長 資料は「平成25年度主要施策の概要」でございます。12ページ、教育委員会所管の主要施策の概要についてご説明をいたします。

まず最初に、考古学による魅力再発見事業です。考古学的なアプローチから奈良の新たな魅力を再発見し、その成果を橿原考古学研究所附属博物館で公開しようとするものです。平成24年度の太安万侶の墓誌に引き続き飛鳥、奈良時代の墓誌等の三次元計測などを行い、その成果を公開します。また、全国の記紀・万葉ゆかりの地と連携をし、考古資料の展示を行います。

次に、文化財保存事業費補助金です。国及び県指定の有形文化財である建造物や美術工芸品の保存修理、史跡地の公有化や整備、市町村が行う発掘調査、文化財の防災対策などに対して補助するものです。主な事業のうち、新規事業といたしましては来迎寺、万法寺などの県指定建造物のほか、前年度に引き続き薬師寺東塔などの国指定文化財の保存修理に補助を行ってまいります。史跡や天然記念物等につきましては与楽古墳群の公有化、天然記念物の樹木再生などに対して補助してまいります。

次に、橿原考古学研究所附属博物館の事業といたしまして、例年どおり春と秋に特別展を予定しております。

最後に、新規事業として橿原考古学研究所埋蔵文化財収蔵センターの設置について説明をいたします。これは橿原考古学研究所で発掘した出土遺物について、これまで8カ所の収蔵庫に分散して保管しておりましたが、旧室生高校を有効活用して収蔵センターを設置し、出土遺物の集約保管を行うものです。今後、地域の活性化や交流の促進につながるような活用について、地元の宇陀市と協議をしながら検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○梶川委員長 ご苦労さまでした。

それでは、ただいまの説明またはその他の事項も含めまして質疑があれば発言をお願いします。

○小林委員 午後の調査もありますので、余り長い質問はいけないと思いますが、きょうは今もご報告がありました。宿泊の促進事業とか外国人観光客の誘客ということで新しい事業が始まっています。例えば「奈良B&B」宿泊促進事業ですね、それから奈良公園周辺の宿泊客誘客キャンペーン事業、そして若者誘客促進事業と、やはり宿泊をふやしたいということで、このような事業が今年度進められているのですけれど、その状況と内

容、それから成果について一度お聞かせいただきたいと思います。

そしてもう1点は外国人の観光客の誘客ですけれど、外国人留学生なら観光サポーター支援事業を国際観光課でやっておられますけれども、これの内容と、サポーター養成について何人くらいが希望しているのか、その辺のことについて、今の状況についてお聞かせいただきたいと思います。それが1点です。

それから2点目は、これまでもお尋ねしてきましたが、奈良公園基本戦略の問題で新聞報道で先日、奈良公園地区整備検討委員会が開かれまして、登大路ターミナルにつきましては、土産物販売や飲食などができる2階建てほどの施設という表現がされておりました。このことがその委員会の中で明らかにされたわけですが、ここはどのような規模でどんなデザイン、意匠なのかということとか、そういうこともこれまでお尋ねしてきましたけれども、その辺はまだ今回は出されていないのか、イメージが湧きませんので、このことについて一つお尋ねします。

それからこれも何回かお聞きしておりましたバリアフリー対策としての若草山への移動支援施設の導入問題についてですが、奈良公園地区整備検討委員会の中で委員長は必要がないのではと言われたということで、計画を疑問視する声も相次いだと報道されているのですが、これまで奈良公園地区整備検討委員会の中でもさまざまな角度からいろいろ検討をしていて、まだ検討中であるということで、例えば景観や環境、条件ということを検討されてきていると思うのですが、奈良公園地区整備検討委員会の中で検討された上で具体的な提案がされて、このような意見が出たのかどうなのか、また奈良公園地区整備検討委員会に出された意見についてはどのように受けとめて、どのようにされるのかをお尋ねしたいと思います。以上です。

○浅田観光振興課長 小林委員から、「奈良B&B」宿泊促進事業及び若者誘客促進事業についての現在の取り組み状況についてのご質問でございます。

「奈良B&B」宿泊促進事業につきましては、いわゆるB&B、ベッド・アンド・ブレイクファーストやゲストハウスといたしました比較的低価格で利用できる小規模宿泊施設への宿泊を促進するというものでございます。多様化する旅行者のニーズに対応いたしまして、このような宿を紹介するパンフレットや電子ブックを作成いたしまして、宿の情報発信を支援するという取り組みを現在進めております。今、宿泊施設情報に加え、そこでの過ごし方などを紹介するパンフレットの作成を進めておりまして、パンフレットの仕様、内容の検討を行っているところでございます。パンフレットの制作過程におきましては、

これらの施設を経営しておられる方々などからの意見を把握して魅力的な紙面づくり、そして効果的な発信につながるようにそれらの方々と一緒に勉強しながら事業を展開していくことで現在考えております。

続きまして、若者誘客促進事業でございます。こちらの事業につきましては、帝塚山大学の学生からの提案事業ということで進めております。若者が実際に奈良県を訪れる動機づけになるような位置情報を活用したアプリケーションを使うことを検討しているところでございます。現在、帝塚山大学の学生と一緒に6回ぐらいワーキングを実施しております。キャラクターであるとかアプリケーションの仕様といったところを検討している段階でございます。併せて、キャラクター制作やアプリケーション開発に関する情報収集も行っているところでございます。以上でございます。

○阪本国際観光課長 外国人留学生なら観光サポーター支援事業につきましてご説明申し上げます。

この外国人留学生なら観光サポーターと申しますのは、県内で在学している外国人留学生を対象にしておりまして、奈良県の魅力を海外へ定期的に発信することで奈良県の知名度の向上を図って本県への外国人観光客のさらなる誘客につなげることを目的としております。外国人留学生なら観光サポーターの募集をすることによりまして、観光資源をはじめとした奈良県の魅力を発信するために必要となる知識や経験を、このサポーターの方々に支援するものでございます。

具体的にはサポーターを中心としましたNARAゆかりクラブを組織しまして、県内の観光モニターツアーや奈良県の観光や文化を学ぶ研究会などを開催しまして、奈良県の観光資源等の魅力を知ってもらう機会を創出するものであります。これに参加した方々は、このサポーターが自身のフェイスブックやブログなどでそれぞれの母国に、海外にそれを定期的に情報発信をしてもらうということでございます。このメンバーにつきましては、8月1日現在で29人が応募していただいております。中国の方が24名、韓国の方が2名、ベトナムの方が2名、台湾の方が1名となっております。

あと内容といたしましては、NARAゆかりクラブの活動の情報につきまして5回ほど活動内容についての説明会のほか、奈良県の夏の鹿寄せとか春日大社の朝のお参りとかにも参加していただいて、それをフェイスブックなどに投稿してもらって情報発信していただいております。今後は1泊2日のモニターツアーなどを6回ほど実施いたしまして、さらなる奈良県の魅力に触れてもらって情報発信につなげていただきたいと思いますところ

ろでございます。以上でございます。

○中西奈良公園室長 奈良公園誘客キャンペーンについてのご質問でございますが、奈良公園誘客キャンペーンは毎年、観光客が激減いたします冬場に多くの方に来ていただいて、できるだけ泊まっていたらこうという趣旨のもとに観光振興課の旅行商品造成事業と合同しまして名前は奈良公園誘客キャンペーンでございますが、奈良県全域を対象にして奈良うまし冬めぐりキャンペーンということで1月から3月の上旬を対象に奈良に来ていただく着地型の商品をつくって旅行会社に販売していただくというものでございます。既にJR東海、JR西日本の協力を得て5月には各旅行会社への説明も終わり、大手のJTB等に至りましては、もう既に全国のパンフレットに奈良へ行こうという形で商品展開をしていただいているところでございます。

中身的には県内社寺のご協力を得まして、ふだん入れないところに入らせていただいたり、それから直接お坊さんのお話を聞いていろいろな体験をさせていただくような、観光客にとっては非常に魅力のある内容にさせていただいていることから、旅行会社のことでキャンセルはありますけれども、今現在、既にもう5,000件以上の宿泊予約が、実行委員会には来ているという状況でございます。以上でございます。

○堀内道路環境課長 登大路ターミナルの計画についてのご質問でございました。

委員お述べのとおり、7月31日に有識者や環境団体NPOなどから構成されます奈良公園地区整備検討委員会におきまして、奈良公園の来訪者への魅力を高めるためにはどのような付属施設を設けるべきかといった内容につきまして、議論していただいたところでございます。当委員会では、奈良県全体の魅力を発信できる施設やゆっくり休息できるスペースやきれいなトイレ、そういった意見など、奈良公園の魅力向上に資する施設についてさまざまな意見をいただいたところでございます。今後はこれらの意見を踏まえまして付属施設の検討を行うとともに、建物の規模、それからデザインについても、奈良公園地区整備検討委員会などの場を活用させていただきまして、幅広く意見を聞きながら検討を進めていきたいと考えております。以上でございます。

○中西奈良公園室長 若草山の移動支援施設についてでございますが、小林委員ご指摘のように前回、奈良公園地区整備検討委員会の中で私どもが今、移動支援施設としてモノレールを検討していますとお話をして、皆さんからいろいろな意見をいただきました。その中で当然、奈良公園内には必要な歩道等についてはバリアフリー化をしているわけですが、若草山におきましても若草山の中に入っただけのような形の遊歩道の整備は

もう既に完了しております。ただ、そういう移動支援施設で上へ上がっていただくことがバリアフリーとして必要なかどうかという部分についての意見が出たと認識しております。

ただ、その中でバリアフリーとしての観点のみならず、また環境影響評価を今やっているところでございますが、環境に影響があるかないかはもちろんのこと、以前奈良公園には例えば野球場があったり、プールがあり、にぎわいの拠点という部分もあったという考え方も含めて次回に整理をして出したらどうかという形になっております。今までその移動支援施設ということだけでご説明をしてきたのは、言葉足らずであったという認識もしております。若草山のにぎわいづくり魅力向上という観点も入れて次回の奈良公園地区整備検討委員会に再度ご提案をしながら、いろいろな指摘を委員から、今までできていただいているように、いろいろな意見を聞きながら検討してまいりたいと考えております。以上でございます。

○小林委員 ありがとうございます。

外国人留学生なら観光サポーター支援事業のご説明をいただきまして29名ということで、その内訳は中国が最も多くて、韓国、その他ですが、希望される方がこれで養成を受けられるわけですが、この目標というか、ほかの国の参加もぜひしてほしいと思いますが、その辺については今後どうお考えなのか。それから、その29名を、数として量的にもっとふやしていくお考えはあるのかないのか、その点を一つお聞きしたいと思います。

それから登大路ターミナルにつきまして、まだ規模とかデザイン、意匠という点がまだこれからということでもわかりました。これまでも質問しましたように全体像がわからないとイメージが湧きません。それで私どもの主張としては奈良公園の玄関ですので、環境に合ったもの、風情に合ったものということでは、その辺の全体の規模とかデザイン、意匠が非常に大事だと思いますので、それもぜひ示していただいて意見を出させていただく機会もつくっていただきたいと思います。

それからバリアフリー対策のモノレールですが、モノレールを提案されたということもわかりました。ただ、環境影響評価はまだされているところだということですので、その辺のこともどうなのかと思いますので、この点は委員会での意見などもぜひ重視をしていただいて、それで環境影響評価もどうかということもかみ合わせて、これは必要ないのではないかと考えていますけれども、今度提案されるということですので、この点もぜひ考えていただきたいをお願いをしておきます。(発言する者あり)

○阪本国際観光課長 NARAゆかりクラブでサポーターを支援されている方の人数ですが、先ほど申し上げましたように今、29名で中国、韓国、ベトナム、台湾の方でございますが、この観光サポーターと申しますのは奈良の魅力を留学生を通じて各国に発信してもらおうということが目的でございますので、ほかの国の方々がご応募いただけるのであれば、それはもうもちろんお受けしてやっていきたいと思っております。この参加者につきましては、今29名ですが、参加のご希望がありましたら、またお受けしながらやっていきたいと思っております。以上です。

○梶川委員長 いいですか。

○小林委員 はい。

○森川委員 私から、要望というか、今回、観光振興対策特別委員会の中で奈良県全体の観光という意味でさまざまな事業をされているということで、観光事業として新規事業は、いろいろやられていると思いますけれども、それが観光についてどのような成果があったのか。一つの事業をやるごとに評価対象は継続されるに当たってもいろいろな意味での調査が必要だと。そういう調査をできましたらこの各事業の経済効果、また集客効果はどうか、事業によっては何回も毎年やっておられるけれども、同じ人ばかりが集まっているのと違うのかというような事業があるかもわからないということで、できたらそういう調査も今後していただいて委員会で報告していただいたり、また資料として提出していただきたいと思えます。これからとりあえず2年間ありますけれども、その間、話をさせていただいて、できましたらそういう調査報告も兼ねていただきたいなと思えます。

それと私が県庁に来るときに奈良公園の県庁の横の交差点ですが、そこを歩いている方、車道を歩いている方が結構おられるのです。なぜそこを歩いていくのかなど、しょっちゅう通るごとに見るのですけれど、バスの出入り口のようなところが奈良公園にあって、道を間違えて道路端をずっと歩いていくとか、そういう観光客の人を、見かけることがありますので、できたら奈良公園だけではなしに、こういうメイン事業をされるときには特にですけれども、歩行者の安全対策にも本腰を入れて、集客をされるその観光客の安全とかをまず根本的に考えていただきたいなと思えます。今であれば奈良公園のこの十字路の右側、天理向きに入った辺りに歩道があるのかと思って入っていかれる方が多いようで、できればそこは早急に見ていただいて対策をしてあげてほしいなど。

それとやはり各観光地、特に奈良もそうですけれども、各観光地に来られて休憩する場所がない。奈良公園でも近鉄奈良駅から東大寺へ行く間にも本当にお年寄りや体の不自由

な方が歩いていても実際にちょっとでも休めるような木陰も、木陰はたくさんあるけれど、座る場所がない、休憩する場所がない。そういうことをできましたら奈良県全体の観光地を一度総点検していただいて、特に奈良県の場合、奈良公園の周辺にすごい力を入れておられるので、反対にそういう休憩場所を丁寧につくって、また検分していただきたいと思いますので、一種の要望としてお願いしたいと思います。答弁は結構です。

○梶川委員長 それでは終わります。わかりました。

ほかにありませんか。

○除副委員長 観光振興対策特別委員会は、久しぶりでございますので、さっきいろいろ説明を伺って思いつくままに、質問をさせていただきます。

万葉集、古事記と力を入れて検討して取り組んでおられるのですけれども、主に東京でいつもそういう会合を開催されているということで、東京で開催される意味というか、意義というか、それを教えていただきたいのと、そういったことで東京、関東方面からの奈良への集客を考えていらっしゃるかと思うのですが、記紀・万葉プロジェクトが始まってから数年たってどれだけの影響、成果があったのか。途中ですけれども、そういった点について一つお伺いしたいと思います。

それと主要施策の概要の11ページでしたか、平城宮跡歴史公園拠点ゾーン整備計画に関するパブリックコメントがきのうで終わったということですが、どういった声があったのか、もしわかれば教えていただきたいと思います。

それからこの県庁周辺、ゲートウエーということでいろいろ取り組みをされるのですけれども、今、議会棟の西側の道路ですけれども、かなり夜は暗いです。文化会館で夜に催しがあって、たくさんの方が来られるのですが、広場からずっと入っていかれるかと思うのですが、横の道も結構通られるのです。県庁の中に入りましたら、ブルーの明かりがあるのですが、この道路沿いの街灯が1カ所しかなくて、すごく暗いのです。燈花会のときもたくさん歩かれています、地元の方とか、ここを通られる方とか文化会館へ来られた方とか結構、暗いというお声があるのですけれども、これはいろいろな整備の中でよくなるのでしょうか。お伺いしたいと思います。

それから近鉄奈良駅から南側に出られた方はずっと東向いていくと奈良公園だとおわかりになるのですが、北側に出られた方が、夏に多分家族連れで奈良公園に行こうとされたと思うのですが、どっちへ行けば奈良公園なのかということでうろうろされていたので、どうされましたかってお聞きしたら奈良公園に行きたいけれどもおっしゃったので

す。東向いて真っすぐ行っていただければ、それが奈良公園の入り口になりますので、それから東側、南側、ずっと奈良公園一帯になりますと、広いのですよということでご説明申し上げたのですが、何か意外とどちらの方向が奈良公園なのかというのがわからない方がいらっしゃいます。これは正倉院展のときもそうでした。正倉院展に来られた方もうろたえられていました。どちらへ行ったら奈良国立博物館があるのかおわかりにならない方がいらしたのです。どこへ出ても、どこの出口を出てもわかるように、そういった道案内とか、例えば正倉院展のときは少し案内するような方がいてもいいのかと思ったりするのですけれども、そういった点についてはどうお考えなのでしょうか。

それから、きのう、総務警察委員会の県内調査で外国人支援センターに行かせていただきました。先ほども阪本国際観光課長からいろいろご説明をいただきました。そういった留学生に対する取り組みは、いやあ、すごいことやなと思っているのです。その方が奈良に滞在中に奈良の魅力をご自分の口で発信していただければ、すごい観光振興につながると思って今期待しています。ところが地元にはいらっしゃる方が、意外と奈良の魅力をご存じないのです。特に奈良市でも東のほうの人は毎日のように奈良公園を、自分の庭だと思っていますので、一日のうちどこかで散策するのですが、奈良市でも西の方はほとんど奈良公園に来られることが少ないのではないかと、機会が少ないのではないかとということを含めて地元の方に、外国人支援センターで留学生にやっていらっしゃるようなことをやれば、もっともっと奈良県の魅力の発信力につながるのではないかとふと思ったのですけれども、そういった点についてはどのようにお考えなのか、お伺いしたいと思います。

たくさん質問しましたけれど、答弁をお願いします。

○久保田観光局長 最初に、記紀・万葉プロジェクトの展開なども含めまして東京でシンポジウムなどを集中的にされているようですがと、意義のご確認でございます。

昨年来、荒井知事も観光にとらわれずに、例えば農業でもトップセールスを東京都でやっている。やはり東京都でこういうものをするのは全国に向けて発信していく、非常に可能性を秘めているということで東京都に集中してやることは非常に意義があると、観光の面でもそうであると思っております。本県の観光の課題は、たくさんあるのですけれども一つ、何だと言われますと、観光客はたくさん来ていただいているのですけれども、宿泊につながっていないというのが大きな課題です。一番わかりやすい例が東大寺のお水取りという行事がございまして、たくさんの方が来られるのですけれども、午後7時半を回りますと近鉄奈良駅の特急券売り場に行列ができてという状況で、宿泊につながっていない

い。宿泊という観点で捉まえますと、現状はやはり東京、それから首都圏が過半数を占める状況でございますので、ここでいろいろなプロモーションをすることは非常に意義がありますし、これらの奈良観光予備軍に対してシンポジウムなどで喚起することが非常に重層的な意味を持つてくるかと思えます。

そういう中で記紀・万葉プロジェクトの取り組みは、今後8年、足かけ9年やってまいりますのは、奈良の魅力はやはり歴史、文化であると、国際性を持っている、あるいは仏教を受容した地であるということです。それが、なおかつ、ずっと途切れることなく続いているというのは奈良県でないと発揮できない魅力であると。これを観光の面で成果はどうですかとお聞きいただきますと、やはりこういう歴史、文化については少しじっくりと取り組んでいかないと、観光の面ではこれですという成果がなかなか見えにくい。しかし、これを外すわけにはいかないという思いで少し丁寧な取り組みをしていきたいと考えております。これが1点目でございます。

それから2点目は、最後にご質問のございました外国人支援センターで留学生の取り組みを強めています。やはり最強の広報手段は口コミであるという思いで、留学生の実態をいろいろとご本人たちに聞きますと、ふだんは学校と往復しているだけだと。休みがあると、現実的にはアルバイトなどで忙しくされて2年いたり4年いたり1年いたりそれぞれですけど、実際のところ奈良県に住んでいるだけで奈良のことを全然知らずに帰られるということをお聞きしましたので、何かお手伝いできないかなということでこういう取り組みをしております。翻って、では、国内、それこそ地元に住んでいる人はどうかというお尋ねでございますが、まさしく余りにも近くにあり過ぎて疎くなっているということと、記紀・万葉プロジェクトの8年の取り組みにも代表されますように少し腰を据えて取り組まないと、勉強しないと、なかなか奈良の魅力は、あっ、そんなところに我々住んでいるのかという魅力がなかなか勉強できないものですから、こういう記紀・万葉プロジェクトの取り組みを通じましたり、あるいはそうやって奈良に住みながら大阪に通っていた人が団塊の世代を中心に大阪への通勤定期がなくなって、それこそ奈良の西に住んでいる人も大阪へ通わずに奈良に向いていただく、いい転換期かなと思いますので、そういう取り組みは、具体的にはこれからでございますけれど、少し勉強させていただいて取り組んでいきたいと思っております。以上でございます。

○石井平城宮跡事業推進室長 先ほど平城宮跡歴史公園拠点ゾーン整備計画に関するパブリックコメントの現状ということでお聞きいただいたところでございます。

昨日までが期間で、当日消印有効になっておりますので、最終報告はまだ少し時間がかかると思いますけれども、先週末程度で一旦、中間集計を出しているところをご報告をさせていただきますと、意見総数としては、先週末で58件程度のご意見がございました。意見定数の属性といたしましては4分の3ぐらいが男性で4分の1ぐらいが女性、年齢的には一番多いのはやはり30代、40代、それから飛びまして70代の方のご意見が多かったということでございます。居住地的に申し上げますと、奈良市内の方がおおむね半数、それから県内全体で見ますと4分の3程度の方がご提出いただいているということで、中身につきましては今回、国の整備と一緒にやらせていただきましたので、種々散らばっておりますけれども、一般的な意味での景観のお話でありますとか、それから私どものほうで出しております計画でいきますと、駐車場整備について若干ご意見があったと今まで見させていただいた中ではございます。以上でございます。

○堀内道路環境課長 近鉄奈良駅から県庁、それと県文化会館までの間の北側の歩道が暗いというご指摘、それと駅から案内サインがわかりづらいというご質問でございました。

我々といたしましては、今の新規事業の中で特に最初の暗いというご指摘の箇所、そこも含めまして県庁周辺歩行空間環境整備事業ということで、近鉄奈良駅から県文化会館、県立美術館、奈良公園にかけての歩行者動線、これを検討していきたいと思っておりますので、そういった暗さ、照明ですね、そういった観点も踏まえて検討していきたいと考えております。

それと2点目の案内サインがわかりづらいということで、特に県庁周辺、この周辺につきましては実際にいろいろ乱立しているような状況でもございますので、そういったことを踏まえまして県庁周辺案内サイン統一化事業、あくまでも県庁周辺でございますけれども、現在の案内サインを集約、統一化しまして、わかりやすいサインにしていきたいと考えております。以上でございます。

○除副委員長 ありがとうございます。

記紀・万葉プロジェクト、これはもう奈良県としての大きな柱でございます。私自身もまだまだ乗り切れてない、出おけている状態でございますので、奈良の歴史、文化を、こういう機会にしっかりと学びたいという思いはいっぱいあるのですが、なかなか忙しくてどこから手つけていいのかわからないという方が多いのではないかと思います。世界遺産も3つもある県でございますので、しっかりと自分の地域を知るといって、そこにいる、そこに住んでいるという喜びを感じながら、それがやはり発信力となっていくのでは

ないかと思っていますので、そういう機会を早く見つけて私自身も乗っかっていきたいと思っております。県としてもまた広域にそういったことを広げていただくようお願いをしておきたいと思えます。以上でございます。

○梶川委員長 ほかありませんか。

○大坪委員 奈良維新の会の大坪でございます。1点だけ、今質問をお聞きして聞かせていただきたいと思ったことがありましたので、お伺いします。

観光局長にお伺いをしたいのですけれども、今、宿泊の増加を目指していかれるというところで、例としてお水取りが終わった後の午後7時半ごろの特急券売り場に人が殺到するというので、いろいろ考えてプロモーションをしていきたいとおっしゃったのですが、その内容としてどういったことを考えて、それがまた改善されるようにしていかれようと思っているのか、お伺いしたいと思います。

○久保田観光局長 観光の課題はたくさんございまして、ウルトラCがなかなか見つからないのが現状でございまして、こういう場をおかりしていろいろな方々からお話をお聞かせいただくのが仕事だと思っております。宿泊につながるための時間的な流れでいいますと、やはり夜の魅力を創出していかないといけないというのと、朝という部分がございます。そういう意味ではそんなに単純なものではないのですけれど、時間という観点で捉えますと、やはり夜になるべく遅くまで滞在していただくための工夫が必要であると。もう一つは、では、朝の取り組みはどうかというところに集約されると思えます。

夜については、お水取りに来られて、そのまま帰られるには何か食事の工夫をしないといけないのと違うのかとか、そういうことを考えていかないといけないというところと、それから朝については、最近、私も知りましてまた来週体験しようと思っているのですけれど、例えば春日大社が毎朝6時半から一の鳥居のところに集まって参拝に行くというようなことを、ことしのたしか1月ぐらいから始めておられて、それが梅雨の時期なんかにだれるかという心配もされていたのですけれど、必ず相当数の人が集まってこられる。

我々でもいろいろな組み合わせで観光に行くのですけれど、お寺へ参ったり神社へ参ったりと、そればかりが続くとあれなんですけれど、そういうことをしますと、心が何かこうすっとするといいますか、お参りしてよかったなと思うわけです。奈良はこういうところを発揮していかないと、ネオンぎらぎらを突然できるわけでもございませぬので、こういう組み合わせをプロモーションしたり、あるいは口コミで伝えることによって、それだったら次の日にどこそこ行って朝お参りして帰ろうか、それだったら泊まろうかというよう

な、具体的などここに何時に集まると、こういう体験ができるというもののできれば複数、提案することによって宿泊につなげていくという具体的な取り組みを強化していきたいと思っております。以上でございます。

○大坪委員 どうもありがとうございます。

今、例えば、夕食、これ本当に大事な、食べれば宿泊の余地はふえる、これは確かだと思います。ただ、お水取りのことに關しましては、午後7時半に帰る人が殺到するというのはお松明を見て火の派手な部分をばっと見て、ああ、終わったと思って大阪のほうへ帰っていかれるということだと思ふのですけれども、お水取りの本当の部分というのはやはりその後のずっと行法が長くあって、そこにまた奈良の魅力があって奈良のリピーターの方というのはお水取りのお松明以外のいろいろな有名人の方の過去帳を読まれたりとか、ああいった部分なども楽しみに毎年来ておられるということです。最近、どうか知りませんが、以前知っているときには、あの時期は奈良ホテルでも満室で部屋がとれないというふうなのが毎年続いて、今景気が悪いので実際、私もどういふふうになっているか把握はしてないのですが、結構そういうリピーターの方もおられる。ですから、そういうお水取りはあのお松明だけではないんだという部分をもっとアピールもしていただきたいし、そしてまた、早朝の、春日大社のお参りというのは私も存じ上げております。

あとまた、鹿寄せですね、飛火野での鹿寄せも今、早朝鹿寄せというようなことを言っていて、早朝といっても午前9時か10時ぐらいにやっておられるので、私は早朝とは思わないのですが、本当でしたらもっと早朝、とにかく泊まらないと見られないという形をとってもらって、そういったものもまた魅力にさせていただいたらと思うのです。

でも、今、本当に観光局長からいろいろな具体的な例を挙げていただきましたので、よりよい形でこの奈良の夜と朝をアピールして、より多くの方に泊まっていただけるようにご努力をいただけましたら、大変ありがたいと思います。どうかよろしく願い申し上げます。終わります。

○梶川委員長 ほかになれば、これで質疑を終わります。

それでは、これもちまして、本日の委員会を終わります。ご苦労さまでした。